

# 2025年3月期 決算説明会資料

アーキテクト・スタジオ・ジャパン株式会社



「新城の住宅」設計:伊原洋光・伊原みどり 撮影:小川重雄



2025年5月28日

東証グロース [証券コード: 6085]

# 目次

---

## 1. 2025年3月期 決算概要

連結決算 業績

会社概要・子会社概要

## 2. 2026年3月期 計画について

事業方針

連結通期業績予想

## Appendix

- ・ 参考情報
- ・ 用語集

# 1. 2025年3月期 決算概要



使用画像（左から） 設計：澤村昌彦 撮影：杉野圭／設計：河内真菜 撮影：Nacása & Partners Inc.／設計：岸研一 撮影：小川重雄／設計：山本学 撮影：上田宏

# 【市場環境について】 住宅建設市場全般の動向

## ■2024年新設住宅着工数

国土交通省から2025年1月に公表された2024年の新設住宅着工戸数は、前年度比3.4%減となる79万2,098戸。

各利用関係別でも給与住宅（社宅・寮）以外はマイナス。

	総計		持家		貸家		給与住宅		分譲住宅(一戸建て)	
	戸数	前期比	戸数	前期比	戸数	前期比	戸数	前期比	戸数	前期比
2015年	909,299	101.9%	283,366	99.3%	378,718	104.6%	6,014	81.6%	123,624	98.6%
2016年	967,237	106.4%	292,287	103.1%	418,543	110.5%	5,875	97.7%	133,739	108.2%
2017年	964,641	99.7%	284,283	97.3%	419,397	100.2%	5,770	98.2%	138,189	103.3%
2018年	942,370	97.7%	283,235	99.6%	396,404	94.5%	7,468	129.4%	142,393	103.0%
2019年	905,123	96.0%	288,738	101.9%	342,289	86.3%	6,400	85.7%	147,522	103.6%
2020年	815,340	90.1%	261,088	90.4%	306,753	89.6%	7,231	113.0%	130,753	88.6%
2021年	856,484	105.0%	285,575	109.4%	321,376	104.8%	5,589	77.3%	141,094	107.9%
2022年	859,529	100.4%	253,287	88.7%	345,080	107.4%	5,675	101.5%	145,992	103.5%
2023年	819,623	95.4%	224,352	88.6%	343,894	99.7%	5,078	89.5%	137,286	94.0%
2024年	792,098	96.6%	218,132	97.2%	342,044	99.5%	6,613	130.2%	121,191	88.3%

## 2025年3月期 連結決算実績

(千円)		2024年3月期 実績,	2025年3月期 実績	増減額	2026年3月期 通期計画
売上高		592,868	897,496	304,528	3,001,323
	住まい関連事業	592,868	565,121	△27,747	1,723,323
	暮らし関連事業	—	28,294	—	1,170,000
	投資関連事業	—	304,080	—	110,000
売上総利益		509,700	606,713	97,013	1,508,177
営業利益		△216,506	△96,615	119,891	386,299
経常利益		△236,217	△92,982	143,235	386,299
親会社に帰属する当期純利益		△361,355	△79,904	282,451	240,299

## 2025年3月期（セグメント別売上）

(千円)		当連結事業年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日
住まい事業	加盟金売上	12,150
	定額ロイヤリティ	82,915
	契約ロイヤリティ	285,221
	マーケティング売上	87,576
	建築家フィー売上	33,100
	その他売上	64,167
	合 計	565,121
暮らし関連事業	物販/EC売上	247
	マーチャンダイジング売上	23,597
	その他	4,450
	合 計	28,294
投資関連事業	環境事業	290,100
	その他	13,980
	合 計	304,080

## 2025年 連結貸借対照表

	(千円)	2024年3月31日	2025年3月31日	増減額	主な増減要因
	流動資産	466,362	630,582	164,220	商品37,960、短期貸付金126,606
	固定資産	77,824	1,500,814	1,422,990	投資不動産1,297,981
資産合計		544,186	2,131,397	1,587,209	
	流動負債	268,472	575,656	307,184	1年内長期借入金81,180 訴訟損失引当金61,590
	固定負債	212,459	1,320,491	1,108,032	長期借入金984,068
負債合計		480,931	1,896,148	1,415,217	
純資産合計		63,254	235,249	171,995	
負債純資産合計		544,186	2,131,397	1,587,211	

# 連結キャッシュ・フロー計算書

(千円)		前連結事業年度 自 2023年4月1日 至 2024年3月31日	当連結事業年度 自 2024年4月1日 至 2025年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		△ 204,231	△ 84,249
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 90,719	△ 46,690
フリー・キャッシュ・フロー		△ 294,950	△ 130,939
財務活動によるキャッシュ・フロー		245,026	77,870
現金及び現金同等物の増減額		△ 49,923	△ 51,745
現金及び現金同等物の期首残高		313,044	263,120
現金及び現金同等物の期末残高		263,120	211,375

- ・ 営業活動によるキャッシュ・フロー：負ののれん発生益△111,742
- ・ 投資活動によるキャッシュ・フロー：連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出△55,295  
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入87,889
- ・ 財務活動によるキャッシュ・フロー：新株予約権の発行による収入102,672

# 2025年3月期 主要業績指標

区分		期別	2024年3月期	2025年3月期	前期比増減
(1)	登録建築家	期末数 (名)	2,972	2,979	7
(2)-1	スタジオ ※コルゲートアーキテクチャー含む	新規加盟	15	2	△13
		退会・休眠	▲10	0	—
		実質期末稼働数	80	82	2
(2)-2	プロトバンクステーション	新規加盟	7	0	▲7
		スタジオ申込	0	0	0
		退会・休眠	▲7	▲1	—
		実質期末稼働数	47	46	▲1
(3)	イベント	開催回数 (回)	110	90	▲20
(4)	ASJアカデミー会員	新規入会数 (名)	2,407	1,498	▲909
		内 イベント入会	922	773	▲149
		内 WEB入会	440	278	▲162
		その他入会	1045	447	▲598
(5)	プランニングコース	新規件数 (件)	279	247	▲32
(6)	建築設計・監理業務委託契約 建設工事請負契約	件数 (件)	75	48	▲27
		件数 (件)	125	134	9
		金額 (百万円)	6,743	6,548	195
		平均単価 (万円)	6,401	4,887	1,514

## 会社概要・子会社概要

---

### 会社概要・子会社概要

当社は2025年3月期において、すでにお知らせした中期経営計画に基づいて「生活そのものをDesignする」をテーマとして住ビジネスから暮らし提案企業への転換を目指し、社内的な組織改編及び資本業務提携により、新たな企業グループ体の構築を行って参りました。これにより当社は別紙のような概要となりました。

# 会社概要・子会社概要



… 次代に向けた当社のセカンドステージへのステップアップ「構造改革」を着実に進めています



# 【会社概要・グループ会社概要】

## 会社概要

会社名	アーキテクト・スタジオ・ジャパン株式会社
証券コード	6085（東京証券市場グロース市場）
代表者	代表取締役 庵下 伸一郎
設立	2007年11月9日
事業内容	全国の建築家をネットワーク化、建設会社をフランチャイズ化し、双方を結び付けプラットフォームを構築、顧客が望む住宅や商業施設の供給を行う
本社所在地	東京都千代田区丸の内三丁目4番2号
資本金	8億7,275万円（2024年9月末現在）
決算期	3月末

## 子会社概要

会社名	ESJ株式会社
代表者	代表取締役 庵下 伸一郎
設立	2022年4月27日
事業内容	太陽光発電建設事業・蓄電池設備事業・電気通信設備事業及びそれに関連する事業
本社所在地	東京都千代田区丸の内三丁目4番2号
資本金	5,000万円（2024年9月末現在）
決算期	3月末

会社名	Supaspace PTE.LTD.
代表者	代表取締役 Kevin Sim Kwang Yang
設立	2024年2月29日
事業内容	戸建住宅・集合住宅・商業施設などのインテリアデザイン及び内装設備工事業務及び内装設備工事監理業務、その他上記に付帯する業務
本社所在地	201 Henderson Road #09-18 APEX@ HENDERSON, Singapore 159545
資本金	400,000シンガポールドル
決算期	12月末

# 【会社概要・グループ会社概要】

子会社概要	会社名	MED株式会社
	代表者	代表取締役 水本 達也
	設立	2013年7月3日
	事業内容	IT関連事業 WEBマーケティング事業、不動産管理、投資業
	本社所在地	東京都品川区南品川四丁目
	資本金	1,000,000円
	決算期	6月末
	会社名	株式会社チャミ・コーポレーション
代表者	代表取締役 瀧尾 享治	
設立	2010年7月23日	
事業内容	家具、インテリア製品の企画販売、リフォーム、内装工事業	
本社所在地	東京都大田区平和島一丁目2番30号	
資本金	9,665,000円	
決算期	7月末	
会社名	株式会社 トルネードジャパン	
代表者	代表取締役 暮沼 伸太郎	
設立	2008年9月22日	
事業内容	IT関連事業 WEBマーケティング事業、不動産管理、投資業	
本社所在地	東京都品川区南品川四丁目	
資本金	10,000,000円	
決算期	9月末	

# エグゼクティブサマリー

1

当期第二四半期より建築家ネットワーク事業単一から3つのセグメントでの事業展開へ  
3つのセグメント：「住まい関連事業」「暮らし関連事業」「投資関連事業」

→ **収益構造改革** 当期連結決算において52.7%の増収、増益により赤字幅を縮小  
売上高：前期592,868千円 → **当期897,496千円**  
当期純損失：前期△361,355千円 → **当期△79,904千円**

◎ **2026年3月期での収益構造改革に目途が立ちました！**

2

組織改革・企業グループ化に伴う財務基盤強化

総資産：前期544,186千円 → **当期2,131,397千円**

純資産：前期63,254千円 → **当期235,249千円**

営業キャッシュフロー改善：前期△204,231千円 → 当期△84,249千円（販管費削減）

→ **財務体質改善** ◎ **2026年3月期での財務基盤強化に目途が立ちました！**

発行済全新株予約権の行使にも目途が立ち、資本強化も達成されます

3

主業である「住まい関連事業」の市場環境は引き続いて厳しい状況が継続しており  
暮らし関連・投資関連事業、子会社との協業等により、新たなビジネスモデルへの転  
換必須 暮らしの場としての「住まい」をDesignするという発想

→ 新たな住まい関連事業ネットワーク構築へ

## 2. 2026年3月期事業計画・通期見通



使用画像（左から）設計：澤村昌彦 撮影：杉野圭／設計：河口佳介 撮影：Nacása & Partners Inc.／設計：山澤宣勝 撮影：針金洋介／設計：中尾英己 撮影：木村直人

# 2026年3月期の事業展開について

---

2024年3月12日にお知らせした中期経営計画は次代に向けた当社の新たな企業価値を創造するために策定され、2026年3月期までを第一段階（着手～転換期）として計画しております。

当期にて準備・開始した事業計画を2026年3月期は一定の成果を上げる事業年度としております。

各セグメントにおける課題として

## ■住まい関連事業

対象マーケットの拡大：新築住宅中心から「家具買い替え」「リフォーム」「新築・改築」まで

暮らしの場をDesignするという発想へと加盟店との関係改善

➔ 新たな住まい関連事業ネットワーク構築へ

# 2026年3月期の事業展開について

---

## ■暮らし関連事業

生活をDesignするアイテム（モノからコトまで）の販売の本格的な始動

対象：77,000名を超える当社アカデミー会員に加え、新たなに暮らし関連会員組織を立ち上げグループ会社+3,000名の登録建築家・300社をえる取引先企業との協業体制の確立

➔ ネット（E C サイト）&リアル販売でのセールス体制構築と当該事業のメディア化

## ■投資関連事業

住まい・暮らし関連事業の収益向上をサポートする協業的な投資の実践

当社の企業価値向上に貢献する資本業務提携案件・M & A 案件への取り組み

➔ 当社企業グループ構築のために機能する投資へ

## ■住まい関連事業【主な事業方針】

---

①対象マーケットの拡大：新築住宅中心から「家具買い替え」「リフォーム」「新築・改築」まで、年々縮小する新築住宅市場中心のビジネスモデルからの転換、住まいを「暮らしの場」とし、暮らし関連事業との連動・連携した事業展開に取り組みます。

チャミ・コーポレーションとの連携・協業により、総額計上によるリフォームビジネスへの本格参入の年とします。

②ネットワーク事業本部：新たなビジネスモデルへの対応、加盟店に対するサービス内容の拡充により、新たな取引関係の構築を図ります。

そのためにビジネスサポート事業として従来からの「日本一安い価格での提供を目指す共同購買システム」に加え、新たに住宅引渡し後のアフターサービスを一括して対応する「A S」ハウスサポート・プロ」、子会社であるMED株式会社によるデジタルマーケティングとDX化のためのノウハウ・ソフト供給を行います。また、特にリフォームについては加盟店との共同商品開発に取り組みます。

## ■住まい関連事業【主な事業方針】

### ③プロデュース事業本部

順調な集客を上げている東京サテライトを中心に首都圏の富裕層に対して新築・リフォーム案件の受注に取り組んでいきます。

また、暮らし関連事業の「ASJセレクト」との連携により、当社顧客に対するプラスαの売上を確保し、収益性の向上を図って参ります。



二子玉川ライズ開業から6か月が経過し  
来場は予想以上の推移

2024年10月～2025年3月

- ・ 来場：1820組
- ・ 入会：214
- ・ プランニングコース：37

# ■住まい関連事業【主な事業方針】

- ① 「リフォームビジネス」：チャミ・コーポレーションとの連携・協業  
**定額リフォームパックを商品開発**  
加盟店との共同商品開発を行ない、総額計上によるリフォームビジネスの本格展開  
**建築家によるリフォーム「プロリノベーション」を商品化**  
新築感覚での建築家によるリフォームを商品化
- ② 建築家ネットワーク事業の新たなビジネスモデルへの展開  
加盟店に対するトータルサービスと施主へのトータルサポートの充実・拡充  
ビジネスサポート事業の展開
  - 「日本一安い価格での提供を目指す共同購買システム」
  - MED株式会社によるデジタルマーケティングとDX化ノウハウ提供
  - **アフターサービス一括対応「ASJハウスサポート・プロ」**  
水回り・電気・住宅修理/点検・害虫駆除・片付け整理・ゴミ廃棄・紛争解決等
- ③ 住まいを「暮らしの場」とし、暮らし関連事業との連動・連携した事業展開
  - 暮らし事業の「ASJセレクト」との連携、当社顧客に対するプラスαの商品&サービス提供  
取扱商品：家具・アート・インテリア関連商品・グルメ・ヘルスケア・ホビー等
- ④ 集客強化&大幅な当社会員の増加へ  
市場ニーズの高い内容での自社催事開催とデジタルマーケティングによるプロモーション強化  
※イベント中心の集客からの脱却

# 住まい関連事業 コルゲートアーキテクチャー建設画像



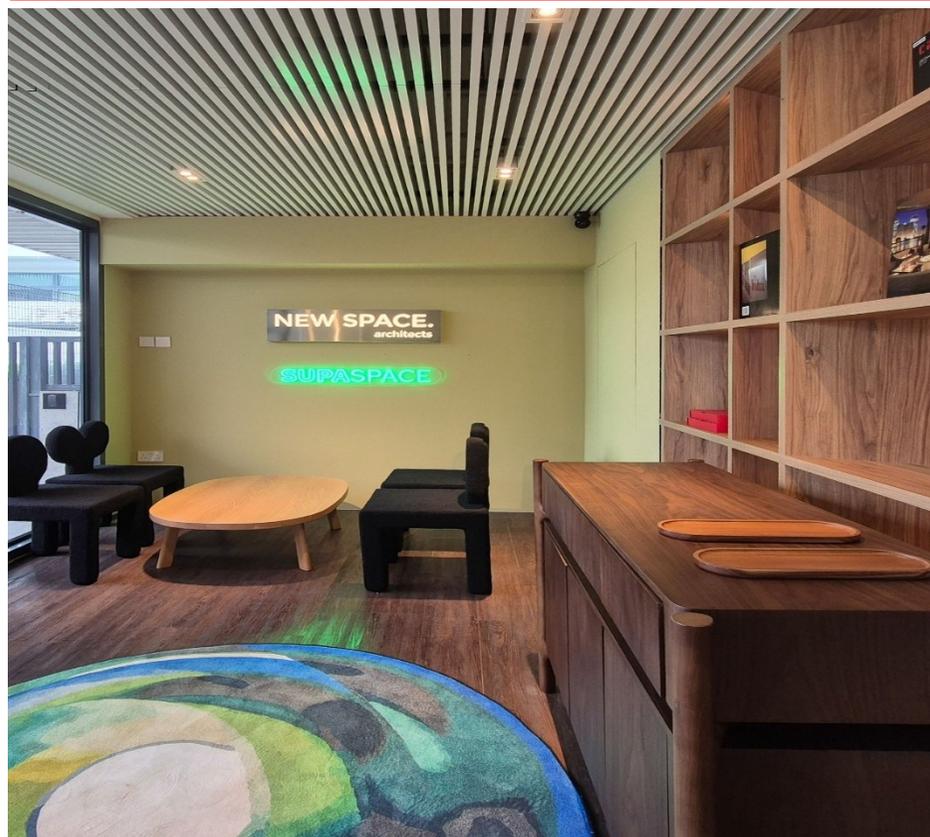
兵庫県姫路市

2025年4月20日(日)

第2回コルゲート現場見学会・研修会



# 住まい関連事業 海外展開「まずはアジア市場へ」



# 住まい関連事業 ショールーム開設



# ■暮らし関連事業【主な事業方針】

「暮らし関連事業は当社の中期経営計画の成長戦略である事業多様化を象徴する部門であります。当社が長年手掛けてきた「住まい」とは暮らしの場であり、その観点から当社の標榜する事業多様化を「生活をdesignする」というテーマによる「生活提案企業への転換」というカタチで実現するために暮らし関連事業の果たす役割は非常に大きなものと言えます。

- ① 住まいだけでなく「暮らし」も提案・提供

## 生活要素：衣・食・住・健康・遊に対応する商品政策（カテゴリー）

住まいを「暮らしの場」とし、暮らし関連商品の提供に取り組みます。

- ② 独自のマーケティングによるマーチャンダイジング＝徹底した差別化戦略

ASJ Original

## ASJだから提案・提供できる商品とサービス「ASJセレクト」

当社グループ及び国内外の事業ネットワークにより独自のマーチャンダイジングを達成。

対象取扱商品：家具・アート・インテリア関連商品・グルメ・ヘルスケア・ホビー等

- ③ デジタルとリアル両面でのアプローチ＝「生」＋「実」体験型商品とサービス展開

## ECサイト「ASJセレクト」とショールーム「ASJセレクト」

独自の実感・体感マーケティングによる顧客へのアプローチ＝高い顧客満足度を重視します。

- ④ 住まい関連事業及び投資関連事業との連携・協業

ビジネスサポート事業に関連する商品の取扱い、また「ASJセレクト」を核とした他業や他社との連携により、当社顧客に対するOne to Oneマーケティングを展開、収益性向上目指します。

## ■暮らし関連事業【主な事業として】

---

A S J だから提案・提供できる商品とサービス「A S J セレクト」

暮らしに関わる様々な商品とサービスを「生活をdesignする」というテーマで独自のマーケティングで品揃えした当社が初めて展開するリテールビジネスです。

対象取扱商品：家具・アート・インテリア関連商品・グルメ・ヘルスケア・ホビー等

品揃えは「DesignとStory」を重視した独自のマーケティングで「A S J だから出来る」をコンセプトとし対象客層は従来からの当社の顧客であるアカデミー会員、より良い暮らしに関心のある方々を新たなメンバーとするA S J会員とし、次に登録建築家及び加盟工務店等を通じた小売を行います。

→**当社の顧客層を拡充**を図ります。

新たな顧客＝A S J会員の獲得のためにMEDと連携し、情報発信型のデジタルマーケティングを展開します。

## ■暮らし関連事業【主な事業として】

---

今後は高い顧客満足度を目指して顧客に対するOne to Oneマーケティングを展開します。

生活要素：衣・食・住・健康・遊に対応する商品・サービスを展開

住まいを「暮らしの場」とし、独自の暮らし関連商品・サービスの提供に取り組めます。独占販売・自社商品開発

業務提携を積極的に行って参ります。特に家具はイタリアからの直輸入製品とリーズナブルでハイデザインをコンセプトとしたオリジナルPB商品を取扱います。

デジタルとリアル両面でのアプローチ = 「生」 + 「実」 体験型商品とサービス展開 → 高い顧客満足度を実現！

## ■投資関連事業【主な事業方針】

---

### [事業方針]

当社の企業価値向上を図る中期経営計画の迅速化と着実な進捗のために事業多様化戦略に貢献する案件への投融資の推進

住まい関連事業・暮らし関連事業の**業容拡大に寄与**することを基本方針とした投資事業への取り組みを行ない、また当社グループ企業及び取引・提携先との連携により当社の企業力向上・事業拡充にも貢献させます。

→**当社の企業力向上へ**

### [事業として]

#### ① 商業施設連動プロジェクト「別府駅前開発プロジェクト」

2025年9月開業の別府駅前開発内飲食店の設計デザイン及び事業企画への総額30,000千円の投融資プロジェクト。当該案件はJR九州グループとの橋渡し役となって、住まい・暮らし・投資に係る新たなプロジェクトにつながっております。

## ■投資関連事業【主な事業方針】

### [事業方針]

② リフォーム条件付不動産プロジェクト: 投資&住まい+暮らし事業中古マンションの仲介斡旋に当社ならではの建築家によるリフォームプランをセットした不動産プロジェクトで、当社が中古案件を買取り、リフォーム条件付(+家具)で販売する場合と業務提携先の不動産会社との協業案件での取扱いの場合での事業展開とします。

③ リフォームローン商品化住まい関連事業の重点項目であるリフォーム事業の業容拡大のためのリフォームローンの展開。キッチンセット・バスルーム・高額家具を対象とした動産ローンも検討中です。

④ 当社企業グループ構築のための資本業務提携及び企業買収に係る投資案件当社企業価値向上・上場維持基準クリアのための施策の一環としての投資案件への取り組み

⑤ ALINプロジェクトはプラント等の販売には関与せずに、ALINに係る案件の監修・プロデュース・マーケティングディレクションに専念し、その手数料収入を投資関連事業の収益として計上することになります。現在、複数の案件が商談中ですが、今後の進捗も合わせて適時情報開示させていただきます。

# APPENDIX



使用画像（左から）設計：河内真菜 撮影：Nacása & Partners Inc./設計：澤村昌彦 撮影：杉野圭/設計：岸研一 撮影：小川重雄/設計：藤田征樹 撮影：鳥村鋼一

# 用語集

用語	内容
ロイヤリティ売上	主にスタジオ（加盟建設会社）の新規加盟契約に係るスタジオ加盟金（コルゲートアーキテクチャー含む）及び既存スタジオ・登録工務店、プロトバンクステーション等に係る月額ロイヤリティ、請負契約ロイヤリティ、土地建物仲介、業務委託・顧客紹介等手数料
マーケティング売上	主にスタジオ単位で開催されるイベントに係る企画費及び販促物等のイベント関連売上
建築家フィー売上	主に登録建築家の建築設計・監理業務委託契約に基づく設計料等に係るプロモーションフィー
その他売上	主にスタジオに対する各種書籍・情報誌及び建設資材・住宅設備等の売上
ASJアカデミー会員	当社のHPをはじめ、スタジオ等を利用した各種セミナー、現場見学会、竣工物件見学会等を通じて会員が建築家の設計した家づくりを進めるうえで必要と思われる情報や知識を提供する会員組織
スタジオ	加盟建設会社の名称、登録建築家及び加盟建設会社と住宅等の建築を希望する顧客であるASJアカデミー会員との打合せスペースであり、登録建築家との個別相談、各種セミナー等の開催にも利用されるサロン。プロトバンクを扱う加盟建設会社はプロトバンクステーション
イベント	ASJアカデミー会員加入促進を図る目的で、建築家とスタジオの協力のもとで開催される。会場では、参加建築家ごとにブースが設営されており、建築家が来場者と対面で建築模型や写真パネル等を使いながら、自らの設計コンセプトや実績を直接プレゼンテーションを行う
プランニングコース	顧客が『自らが選んだ建築家との相性』『プランニング』『建設コスト』『建築を請負うスタジオを運営する加盟建設会社とのコミュニケーション』といったポイントを具体的にチェックし、建築設計・監理業務委託契約、更には工事請負契約を締結するか否かを判断することを目的とする



設計：河内真菜 撮影：Nacása & Partners Inc.

[問い合わせ先]

アーキテクト・スタジオ・ジャパン株式会社

管理本部 03-6262-1256

[住所]

東京都千代田区丸の内3-4-2

このプレゼンテーション資料には、現時点の将来に関する前提や見通しに基づく予測が含まれております。実際の業績は、その時々  
の状況や多様な要因により変更を余儀なくされることがあります。なお、変更があった場合でも当社は本資料を改定する義務を負い  
かねますので、ご了承ください。また、本資料のいかなる部分も一切の権利はアーキテクト・スタジオ・ジャパン株式会社に属  
しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願い致し  
ます。